

令和4年度 経営改革プラン

団体名	株式会社神戸フェリーセンター
-----	----------------

設立年月日	昭和44年8月29日	
団体の設立目的・沿革	昭和44年8月、東神戸フェリーターミナルにおける各フェリー会社の船舶運航（埠頭使用・離着岸・乗船券販売等）について、フェリー埠頭の公共性を維持しながら、車両並びに旅客貨物の安全輸送に資するとともに、フェリー輸送だけでなく経済全体の発展に寄与することを目的として設立。	
団体の主な事業内容	事業名	所管課
	フェリー事業	自主事業
	駐車場等事業	自主事業
	指定管理者事業	港湾局経営課、神戸港管理事務所
代表者	代表取締役社長 堀 茂	

役職員数 (令和3年7月1日時点)	取締役		監査役		職員		合 計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		25	25
市派遣職員	-	1	-	-		-	1
市OB職員	2	2	-	1	1		6
その他	-	-	-	1	87	-	88
合 計	2	3	-	2	88	25	120

財務状況（単位：百万円）	令和2年度	令和元年度	差引
経常損益	△ 13	△ 33	20
税引後当期純利益	△ 13	△ 33	20
販売費及び一般管理費	115	132	△ 17
流動資産	78	99	△ 21
流動負債	106	115	△ 9
長期借入金（固定負債）	0	0	0
期末現金預金残高	65	86	△ 21

■ 中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針 2025 期間中のミッション）

ミッション①	抜本的な経営改善による経営健全化
--------	------------------

■ 短期的なミッション（令和4年度のミッション）

ミッション①	経営改善計画の早期策定・実施
ミッション②	フェリーターミナルの効率的な運営体制の構築

■ 経営指標（令和2年度）

経営指標				令和元年度	令和2年度	前年度比増減	令和元年度実績中小企業実態基本調査による業種別平均値
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	▲ 0.946	▲ 0.419	0.5ポイント	0.088
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	22.80%	21.30%	-1.5ポイント	19.62%
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	-28.37%	-13.41%	15.0ポイント	4.40%
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	709.74%	874.77%	165.0ポイント	204.53%
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	85.47%	74.16%	-11.3ポイント	173.66%
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	-66.31%	-94.88%	-28.6ポイント	46.77%
持続性	自己資本当期純利益率 (ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているか。	-	-	-	3.39%
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産) / 当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	-	-	-	5.71%

■ ミッション工程表

ミッション名	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度～		
中長期的ミッション												
抜本的な経営改善による経営健全化	経営改善計画の策定・実施			経営改善計画の実施								
ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
経営改善計画の早期策定・実施	経営状況調査	経営改善計画の策定		経営改善計画の実施（各所協議等）								
フェリーターミナルの効率的な運営体制の構築	運営体制の検討			実施								

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	<p>目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2年を目処とした早期の債務超過の解消に向けた経営改善</li> <li>・ フェリーターミナルの効率的な運営体制の構築</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第三者（公認会計士などの専門家）による経営状況調査の実施</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営状況調査を踏まえた経営改善計画の策定・実施</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体として、業務体制の適正化・効率化の一層の推進及び総人件費の抑制</li> </ul>
	<p>①フェリー事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神戸三宮フェリーターミナルのヤード拡張に向けた効率的な運営体制の構築</li> <li>・ 利用客の増加に向けた取り組み等による増収</li> <li>・ 社内研修の充実によるサービスの向上</li> </ul>
<p>②駐車場等事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の確保による安定的な事業収入の確保</li> </ul>	
<p>③指定管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受託業務にかかる管理体制の効率化</li> </ul>	

■ 市支援策の活用状況

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	

## ■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

### （1）中長期的ミッションの達成状況

・令和4年7月に策定した経営改善計画に基づき債務超過解消とフェリー事業の収支改善に向けた取組みを進め、令和4年度決算においては債務超過額は概ね計画通りに縮小した。

### （2）短期的ミッションの達成状況

・「経営改善計画の早期策定・実施」については、債務超過の解消に向けた具体的な取組みの検討を進めるにあたり、経営課題の抽出・明確化を図るため、第三者（公認会計士）の分析による財務面からの経営実態調査を行った。また、経営実態調査結果を踏まえ、令和4年7月に経営改善計画を策定し、当計画に基づき経営改善に取り組み、ほぼ計画値を達成した。

・「フェリーターミナルの効率的な運営体制の構築」については、主担当業務に支障のない範囲で担当部署間の相互支援が行える弾力化な人員配置体制を新たに構築することで、運営体制の効率化を図った。

### （3）市政への貢献・市民への還元状況

カーボンニュートラルやトラックドライバー不足が課題となる中、フェリーによる旅客や貨物輸送を確実に実施するために、利用者が安心・安全に利用できるフェリーターミナルの運営を行った。

## ■ 外郭団体マネジメント推進本部の評価

### （1）総合的意見

早急に策定した経営改善計画に基づき債務超過解消に向け取組みを進めている。令和5年度での着実な債務超過解消を目指すとともに、その後も継続して健全で安定的な経営基盤となるよう、効率的な運営体制を構築すること。

### （2）数値目標の状況

評価項目	評価・指導
中長期的ミッション	令和5年度において着実に債務超過が解消できるよう、経営改善計画の着実な遂行を社員一丸となって取り組むこと。
短期的ミッション	更なる効率的な運営体制の構築に努めること。
団体目標	公認会計士等、専門家の意見も取り入れながら、経営改善を進め令和5年度において債務超過を解消すること。
市への貢献・市民への還元状況	今後は新型コロナウイルス感染症による制限の緩和に伴う経済活動の活発化に伴い、フェリー利用客数の増加が見込まれる。旅客のみならず、国内物流を支える重要海上航路であり、利用者が安心・安全に利用できる環境を整えること。

### （3）今後の方向性

団体の存廃も含めた検討を要する団体

継続的な見直しを要する団体

取組みが着実に実施され成果が上がっている団体